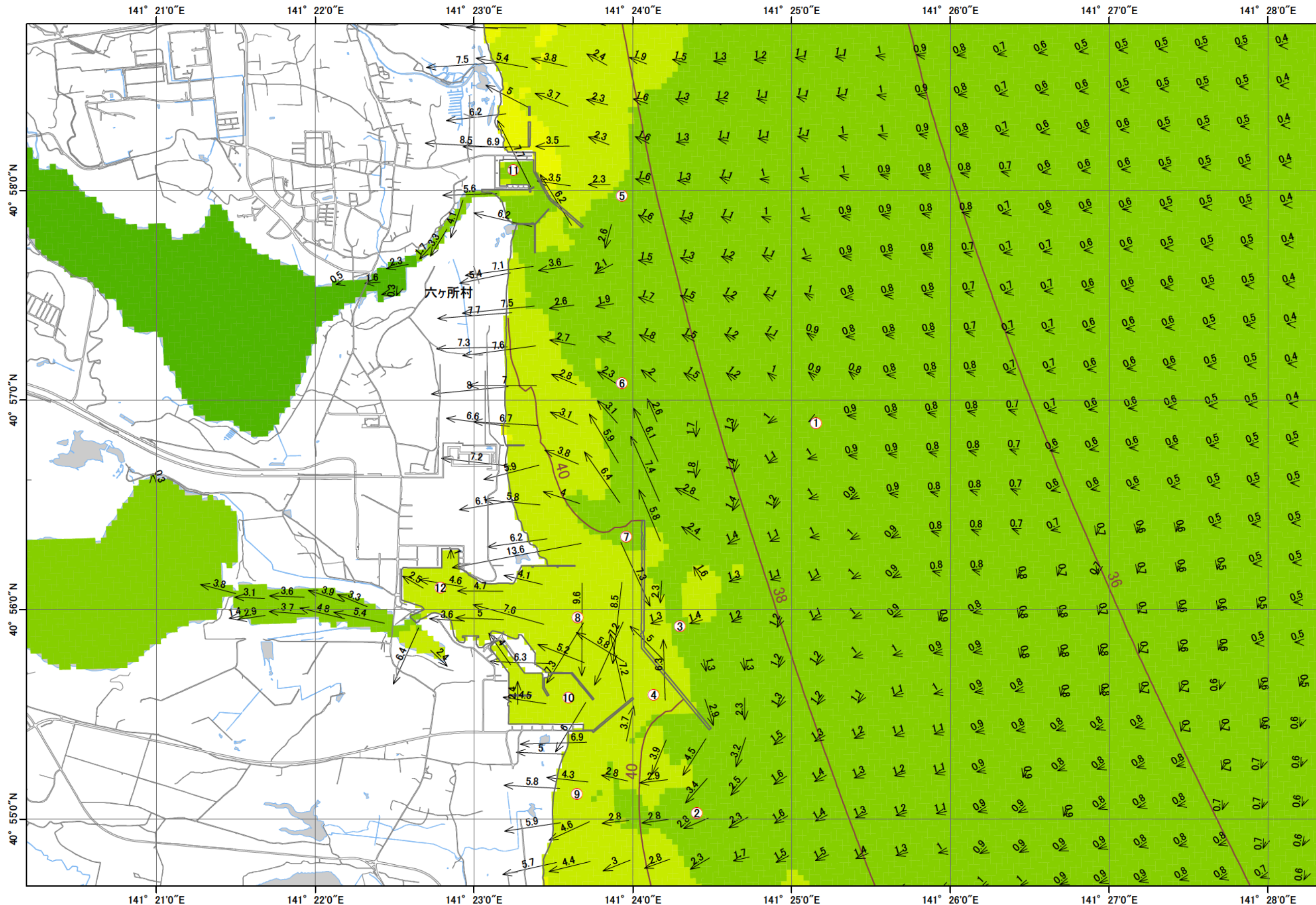


むつ小川原港 津波防災情報図 (進入図)

(明治三陸地震)

計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 0.00m
 Zo：0.85m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

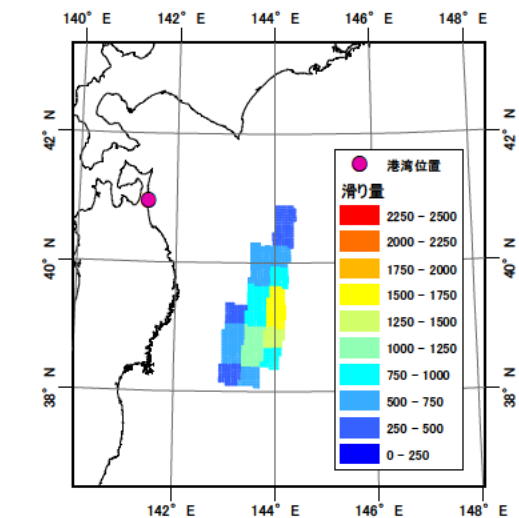
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 3~最大4.0m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 終時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の終時変化図で示す。)

- 進入時最大流 [knot]
 - 6 knot
 - 4 knot
 - 2 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

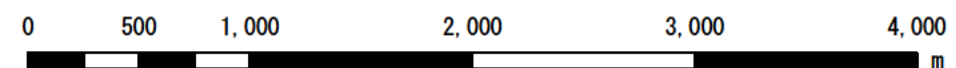
断面モデル



明治三陸地震
 モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基盤地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基盤地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)



作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：令和元年7月(初版)
 地形データ作成年月：平成31年3月(初版)